

# マーケット・レポート

# Weekly Guide 2025.12.22

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご視聴いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、年末の利益確定売りと米消費者物価指数の落ちつきを好感した買い戻しが交錯し、株式市場は高安マチマチの展開となりました。週間では、NYダウは▲0.7%、NASDAQ総合指数は+0.5%、独DAX指数は+0.4%、日経平均株価は▲2.6%でした。10年国債利回りは米国が前週末比▲4bpの4.15%、ドイツは同+4bpの2.90%となり、日本は同+7bpの2.02%と26年ぶりの高水準まで上昇しました。為替市場では、日銀が慎重に利上げを進めるとの見方から157円75銭まで円安・ドル高が進みました。

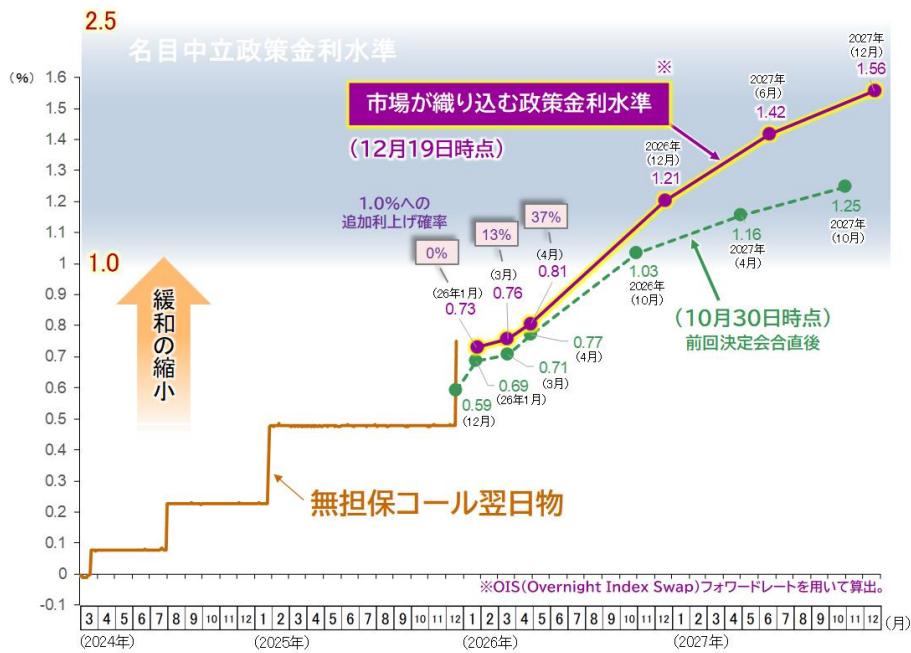
今週は、植田日銀総裁の講演が注目されます。先週18日・19日の決定会合を受けドル円相場は2円近く円安に振れていることから、タカ派的(利上げに積極的)なコメントで為替市場を牽制する可能性があり、注目されます。週末にはクリスマスを控え、各市場で値動きが大きくなりやすい点には注意が必要です。

## 当面の注目イベント

- ◆米・7~9月期GDP速報値 (23日)
- ★米・10月コア資本財受注 (23日)
- ◆米・12月消費者信頼感指数 (コンファレンスボード) (23日)
- ◆日・10月景気先行指数 (24日)
- ◆日・植田日銀総裁講演(経団連) (25日)

★: りそな景気先行指数関連指標

日銀は18日・19日の決定会合で政策金利を0.5%から0.75%に引き上げることを決定しました。短期金融市场では2027年末までに1.5%程度まで政策金利が引き上げられること(=0.25%の利上げ3回分)を織り込んでいます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

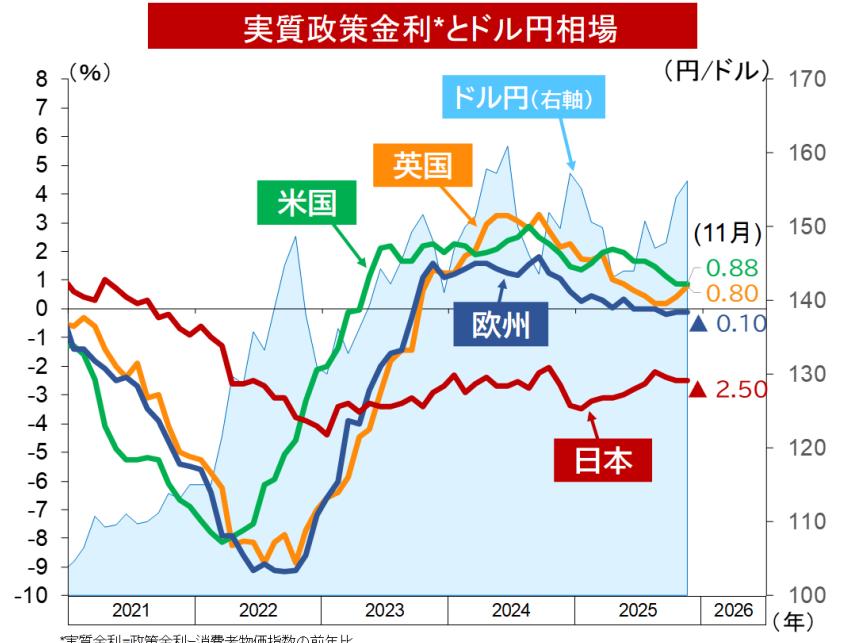
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

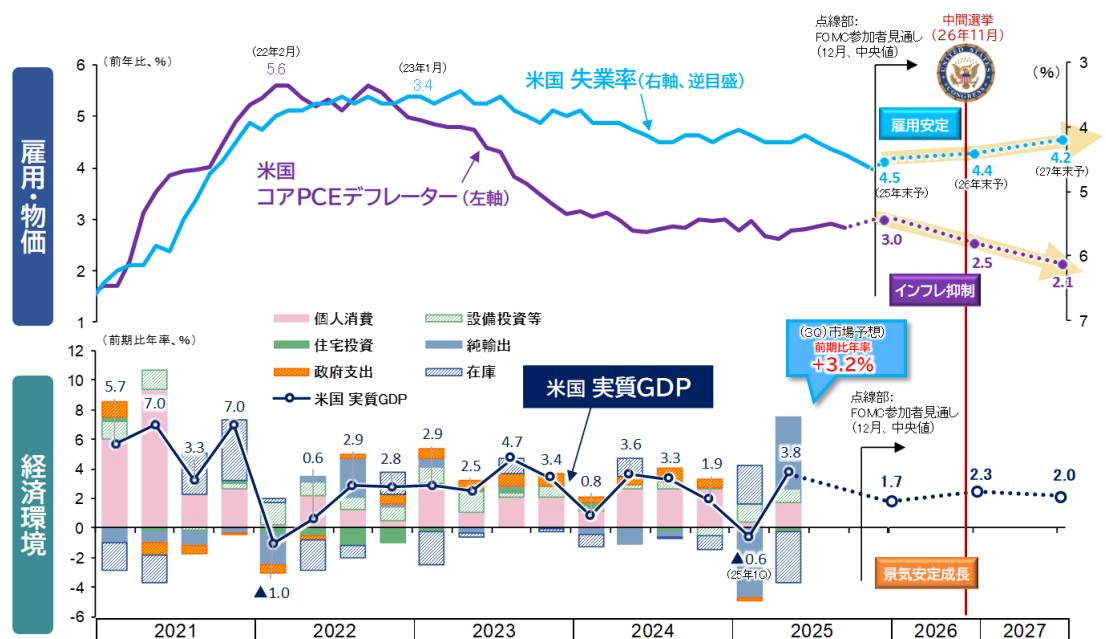
RESONA

日銀は声明文で、今後の金融政策について、“現在の実質金利がきわめて低い水準にあることを踏まえ、引き続き政策金利を引き上げる”との文言を維持し、複数回の利上げを想定していることを示唆しました



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

米国7-9月期GDPが23日に発表されます。前期比年率+3.2%と2四半期連続で高い伸びになることが予想されています。資産効果等による個人消費の堅調さとAI関連の設備投資の伸びが成長に寄与する見通しです



【出所】FRB、ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年1月19日 発行予定です

#### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。